

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	116	1年	後期	臨床検査学科	必修	基礎ゼミ Liberal Arts and Sciences Seminar	30	1
担当教員								
鳥居 順子	草薙 康城	脇坂 浩之		仲渡 江美		金澤 知典	尾上 智子	
北川 恵	坂元 勇太	山口 文徳		美間 健彦				
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につける。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
<input type="radio"/>	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
「人間を知る」「社会を知る」「自然を知る」の3領域における科学的思考の文章（e.g. 新書本）に親しみ、学問をする基礎的態度を養う。前期の「初学者ゼミ」での学習を基に、テーマ学習を通して、レジュメ（発表資料）作成方法、発表原稿のまとめ方、プレゼンテーションの実際などの基本的なスタディスキルの上達を図る。さらに、ゼミ形式の小集団（平均10名）学習によって、受講生が相互に学び合う環境（協同学習）の中で、質問や議論する力、協力し合いながら理解を深める力を身につける。								
到達目標（授業目標）								
①「協同学習」の精神に基づいて、ゼミ方式授業に主体的に参加し役割を果たすことができる。								
②レジュメやパワーポイントによる発表資料の作成の仕方を知り、作成上の注意点について説明できる。								
③質問することの重要性、話し合いを通じて疑問点を解決する、あるいは問題点や課題を抽出することの意義について理解できる。								
④初めて聴く者へも分かりやすい筋道立てた発表を行うための注意点を述べられる。								
⑤他者の発表内容に対して、積極的に質問を行うことができる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								

授業概要	<p>授業進行の概略を以下に示す。具体的な授業の進行および受講ルール等については、第1回の授業で各担当教員が説明を行う。</p> <p>第1回：オリエンテーション 本ゼミの学習目標や到達目標、学習するテーマの概要、受講ルール、成績評価方法などについて理解する。 ゼミ発表の順番など、各自の役割分担を決定する。</p> <p>第2～8回：テキストを中心とした演習活動 毎回の演習活動は、全員のテキストの予習を前提とする。 担当者（2～3名）は、協力して各章の内容など発表内容をレジュメ（発表資料）にまとめ、発表を行う。 その後、全員で疑問点を出し合い、話し合いを通じて疑問点の解消を図り、内容の理解を深める。</p> <p>第9回：中間期のまとめ 研究発表会に向けて、これまでの学習内容を振り返り、発表テーマや役割分担などについて話し合う。</p> <p>第10～12回：発展学習 前半で学習してきた内容の理解を深め、研究発表会に向けて、発表資料を作成することを通じて、以下の点について学習する。 ①図書館やインターネットなどを活用して必要な資料を集める際の、資料収集の方法や注意すべき点 ②プレゼンテーション資料の作成法 ③分かりやすく伝えるための論理展開（発表内容の構成）のあり方</p> <p>第13回：発展学習（研究発表会の準備） 全員で役割を分担して発表資料・発表原稿などを準備する。発表の予行演習を行い、聴き手を意識した発表の仕方を学ぶ。</p> <p>第14～15回：研究発表会 5ゼミずつ2会場に分かれて、各ゼミ30分の持ち時間で研究発表を行う（発表20分、質疑応答10分を予定）。</p>	
	成績評価方法及び基準	
	<p>受講態度100%で、60点以上を合格とする。 ※授業での発表と質問など、ゼミ活動への積極的貢献度、および、学期末の研究発表会での成果で評価する。ただし、発表すべき日の欠席は原則として認めず、違反する者には単位を与えない。具体的な統一基準を、初回のオリエンテーションで周知する。</p>	
	教科書	各ゼミで異なるテキスト（新書本）を使用する。開講前に「基礎ゼミ」ガイダンスとゼミの希望調査を行い、その際に資料を配布する。
	参考図書等	必要に応じて、担当教員が適宜紹介する。

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

演習活動は毎回、テキストの予習を前提としている。担当回は、章の内容など発表内容のレジュメ（発表資料）作成を行う。研究発表会の準備では、各自資料案の作成をして持ち寄る。

関連科目	
前科	115 初學者ゼミ
後科	117 実践と研究

実務家教員					
医師（医療機関）	草薙 康城	脇坂 浩之	山口 文徳		
看護師（医療機関）	北川 恵	坂元 勇太			

備考	基礎ゼミのガイダンスと希望ゼミ調査は、別途行う（日程は「初學者ゼミ」で連絡する）。
----	---